

# 介護ステーション ぶらんち ニュースレター Vol. 103

令和7年7月号

今、選挙で街が静かにわさわさしている…

まあ、びっくりする蒸し暑い毎日が続いています。

皆様、体調はいかがでしょう。

びっくりの暑さは、どうやら日本だけではないようです。

フランスやスペインなどは40度を超えているそうです。

40度って、どんな暑さなのだろう！と逆に変な興味が湧くのは

私だけでしょうか。興味だけで体験はしたくありませんが…

さて、日本は今、参院選挙、真っ只中。

選挙活動も今やSNSが主流となっているからなのか、

昔のように日中、いろいろな声がガンガン響き渡る、ということが少なくなっています。

一見、静かな街の様子。

しかし、内容は野党優勢だからなのか、また、野党が多種の党が出現しているからなのか、

昔より、公約や施策がはっきり打ち出されて、

尚且つ、比較検討しやすくなっていると感じます。

なんやかんや言っても、与党の数が多く、野党を応援しても無理なんじゃないか、

と思っていた時期もありましたが、

いやいや、野党の公約等を自分が応援したいなら、それに掛けてみるのもあり！かも

と思うようになりました。

もしかしたら、このような静かではあるが脈々とした変化が

巷を騒がせた「2025年7月5日の都市伝説」の日にはその日では起こらなかったけれど

結果ではないでしょうか。なんて、想像を膨らませる私です。

投票日

7/20(日)

期日前投票

7/4(金)・19(土)

投票日に予定のあふりは上記の期日、期日前投票が可能です。

第27回

参議院議員通常選挙

## 介護業界を盛り上げよう！！

今たけなわの参院選挙で、

人材不足についての政策から

「外国人材問題」がいろいろ各党より意見・施策等  
が言われています。

介護の立場の私としては、

国レベルで、日本に暮らし続けていい外国人なのか、

日本で働いても問題ない人材なのか、

入口で精査してもらいたい。

なぜなら、介護という仕事は「人と人」の仕事だから。

特に、在宅介護は「1対1」の仕事。

入口で100%とは言わないまでも、

65%くらいは精査して欲しい。

あとは、介護業界での仕組みで取り締まる、

それに加え、事業所の仕組みで取り締まる

で、90%は安全を確保したい

2025年4月に、ようやく、在宅系介護業界も

技能実習生ではなく

ある一定の要件を満たした外国人材を

国が提示している要件等整備した事業所は

採用してOK、となりました。

少子高齢化の社会、働く人不足、増える要介護者、

を考えると、外国人の人材にお手伝いをいただく

時代はすぐそこまでやってきました。

人材確保と教育、明確な仕組み

が求められるこれから、弊社もスタッフで考えて

いきたいです。

### ぶらんちの今を紹介

今の弊社の話題は、「暑さ対策」

もう、それに限ります。

東京都の暑さ対策支援事業を活用して、  
ファン付ベストをスタッフみんな分、購入しました。

が、雨の時はかつばを着るので、

ベストを着るはなかなか厳しい。

また、バッテリーを適時、充電しないと、ですから

切れ目なく動く私達です、

どこで充電するか！も課題。

巷の温度が35度であれば、

アスファルトの上を自転車で走る私達は

37度くらいの体感。

そこで、ご利用者様へのお願いですが、

移動してご自宅に訪問した直後は、

ご利用者様宅のエアコンの温度を

一旦、1～2度下げさせていただいても

よろしいでしょうか。

火照ったからだを一旦冷却したら、

そのご自宅のいつもの温度に

もどさせていただきます。

スタッフ全員がこの酷暑、誰一人も熱中症に

かからず、元気に皆様宅へ訪問できる！を

目標にしたい。

ご協力、何卒、よろしくお願い致します。